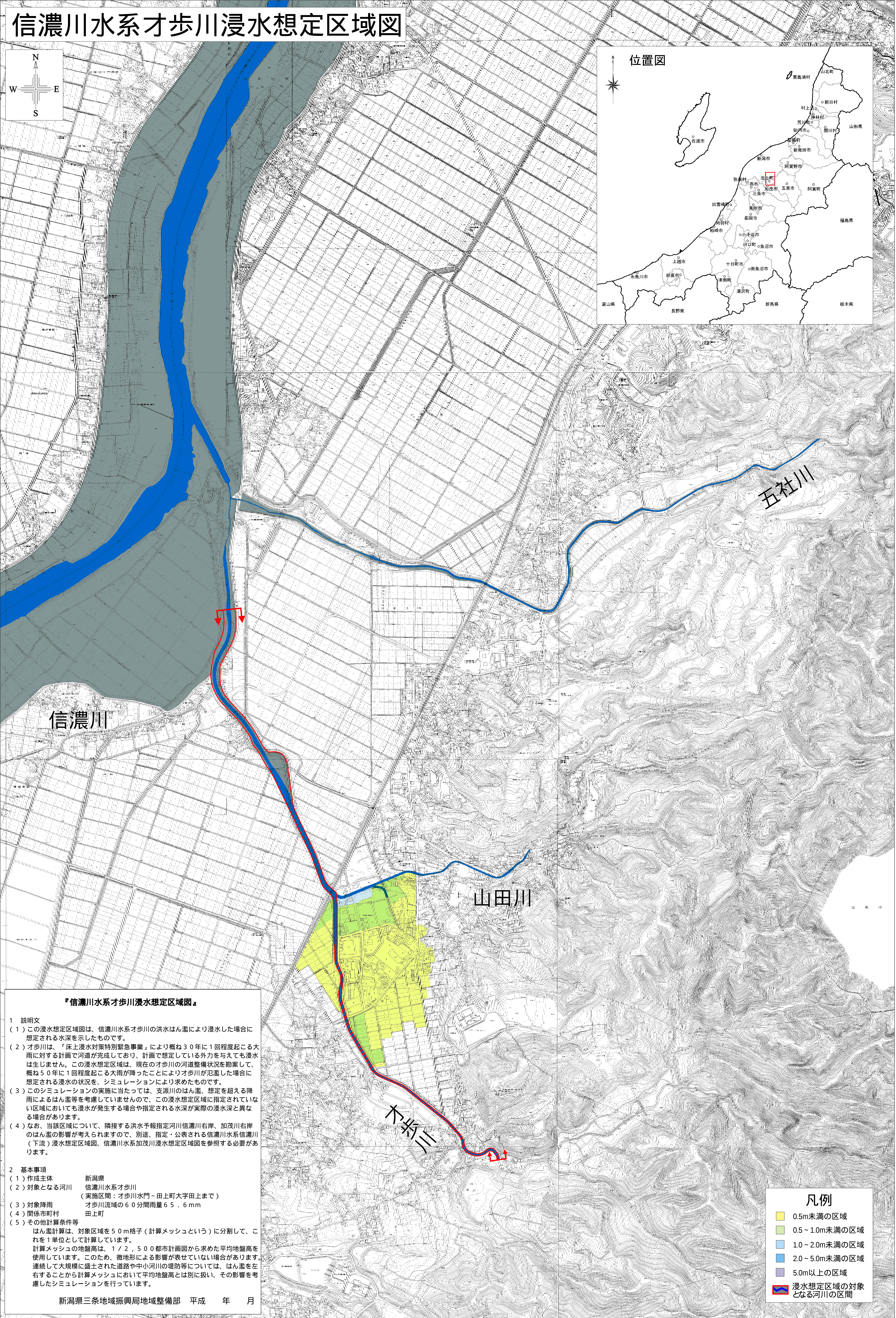
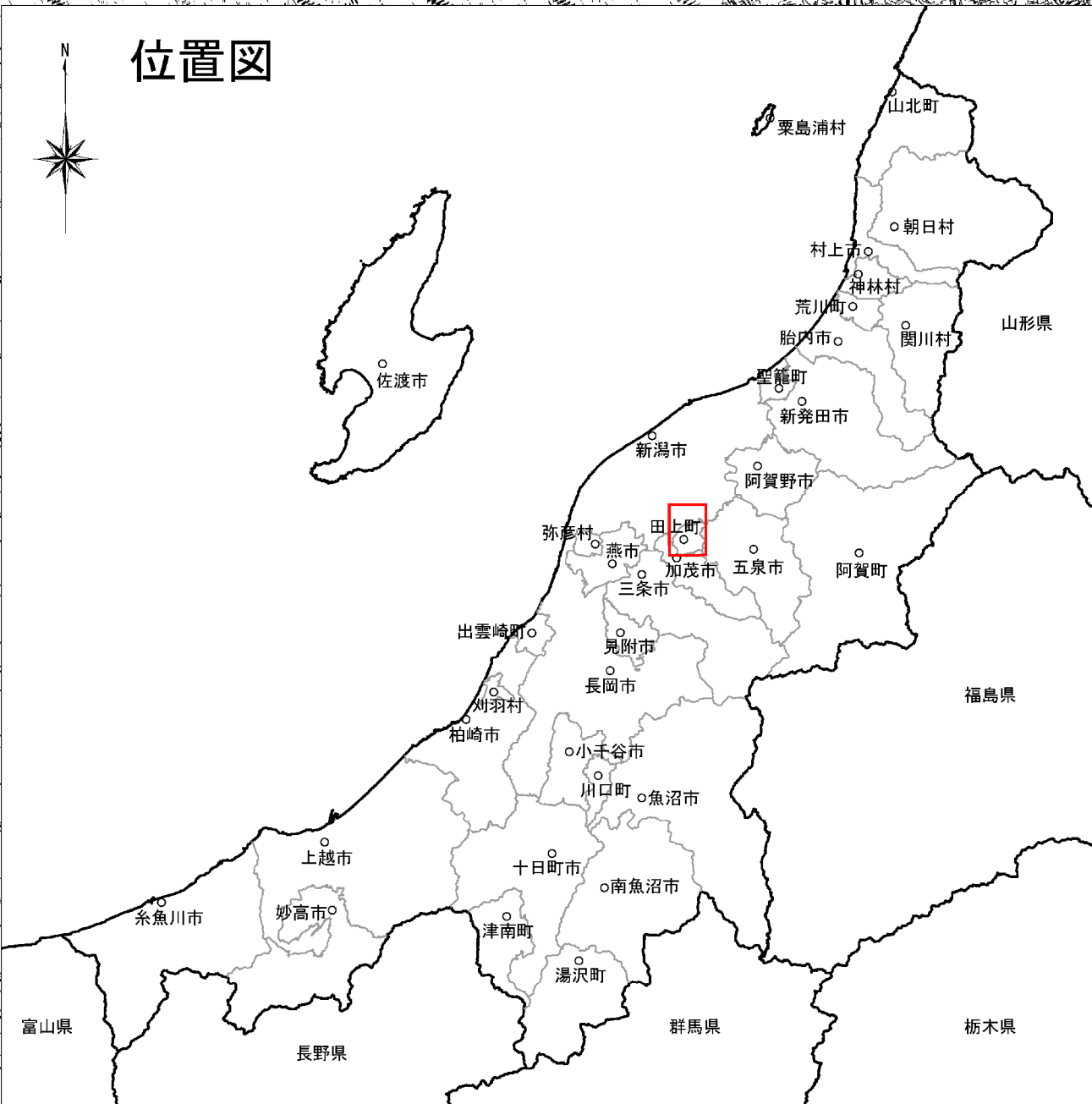
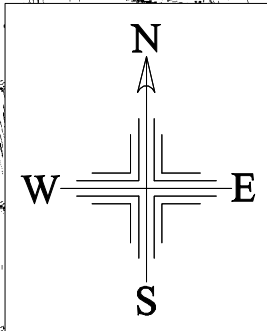


信濃川水系才歩川浸水想定区域図



『信濃川水系才歩川浸水想定区域図』

- 1 説明文

（１）この浸水想定区域図は、信濃川水系才歩川の洪水ははん濫により浸水した場合に想定される水深を示したものです。

（２）才歩川は、「床上浸水対策特別緊急事業」により概ね３０年に１回程度起こる大雨に対する計画で河道が完成しており、計画で想定している外力を与えても浸水は生じません。この浸水想定区域は、現在の才歩川の河道整備状況を勘案して、概ね５０年に１回程度起こる大雨が降ったことにより才歩川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

（３）このシミュレーションの実施に当たっては、支派川のはん濫、想定を超える降雨によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や指定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

（４）なお、当該区域について、隣接する洪水予報指定河川信濃川右岸、加茂川右岸のはん濫の影響が考えられますので、別途、指定・公表される信濃川水系信濃川（下流）浸水想定区域図、信濃川水系加茂川浸水想定区域図を参照する必要があります。
- 2 基本事項

（１）作成主体

新潟県

（２）対象となる河川

信濃川水系才歩川
（実施区間：才歩川水門～田上町大字田上まで）

（３）対象降雨

才歩川流域の６０分間雨量６５．６mm

（４）関係市町村

田上町

（５）その他計算条件等

はん濫計算は、対象区域を５０m格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。
計算メッシュの地盤高は、１／２，５００都市計画図から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、はん濫を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

新潟県三条地域振興局地域整備部 平成 年 月

凡例

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 浸水想定区域の対象となる河川の区間

「この地図は、田上町、旧白根市、旧小須戸町発行の2千5百分の1白図を複製したものである。」